

2020年 11月発行

山梨県 桃の会

HP <https://momonokai.org> E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第74号

☆ 育てよう ☆

やる気を奪うのはたやすい
その人の欠点を指摘し
叱咤激励すればよい

一方、やる気を起こさせるのは難しい
欠点には目をつむって
良い所だけを見る
そしてその良い所を引き出していく
それが人を育てるコツらしい



出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



☆ 楽しい 嬉しい 喜びの笑いを！ ☆

お母さんが乳児期の赤ちゃんをあやしながら笑顔を見せると赤ちゃんも本当に嬉しそうに無心の笑顔返すようになる。母と子の感情が交流した瞬間である。その笑顔は親にとって最高の贈り物であり喜びである。ASD(自閉的スペクトラム)の息子は乳幼児期そういう微笑みを返すことはなかった。パニックと怒りしかなく笑わない子供だった。

小学生の頃になると兄や姉達が笑うとそれを見てテンポ遅れて自分も笑うという具合で、何とも不自然に見えたものだ。それは彼の意味理解の困難さが背景にあったのだが本人にとっては周りに「合わせる」ことにエネルギーを使い果たしても疲れることであっただろう。

30才を過ぎた今彼なりの発達をして感情交流が随分豊かになったと感じるがやはりその特性は消えることはない。

息子の場合は背景にASDの特性があるからなのだが、今私たちの周りから「楽しい、嬉しい、喜びの笑い」がどんどん消えて怒りや不安感の方が強くなっていると感じる。虐待、いじめの増加や全く関係ない人を自分だけの都合で突発的に命を奪ってしまうという事件がそれをもの語っている。嘆き、悲しみ、怒るより、喜び笑い合う方が何倍ものエネルギーを与えてくれることを私たちは知っているはずなのだが、生活の中でストレスと緊張に強くさらされて穏やかな温もりを忘れてしまったのだろうか。無表情でマニュアル的なやりとりで慣れてしまっただけで違和感を感じなくなるのがとても怖い。

人間だけが持っている「笑う」という感情表現は人と人がよりよく生きるために私たちだけに与えられたものに違いない。お金や物では買えない「嬉しい、楽しい喜びの笑い」そういった温もりのある豊かな感情交流をまず身近な所からを少しずつ取り戻したい。そして「虐待」「いじめ」「ひきこもり」という言葉がいつの日か過去のものとなることを願いたい。

厚生労働省就職氷河期世代支援

「やまなしプラットホーム」スタート!

山梨県労働局と山梨県を中心とし経済団体、労働団体、支援機関を構成員とする就職氷河期世代の支援計画について一回目の会議が開かれ「やまなしプラットホーム」の設置要項が承認され活動がスタートしました。

厚生労働省の支援プランの基本的考え方は、**〈画一的な支援ではなく当面働くことを目的にするのか社会参加を目的にするのか一人一人の事情や地域の実情に即した支援メニューを一人でも多くの方に積極的に届けていかねばならない〉**

〈これまで以上に一人一人がおかれている今の状況、様々な悩みやニーズを受け止めるという姿勢をより一層浸透させる必要がありそれを一人でも多くの方に届けていかねばならない〉

というもので今までより更に若者の現状を深刻に受け止めた配慮を感じる内容ではないかと思えます。ですから呼び掛けだけで終わってほしくないと感じています。

国の示した方向性と考え方を県から市町村へ各団体、支援機関へ浸透させて誰もが声を上げやすく埋もれたままになったり排除されることのない支援を強く望み期待したいと思えます。

そして私たち家族会はプラットホームの一構成員として皆さんの声を届けるという役割をしっかりと担っていきたいと思えます。

※詳しい内容はプラットホーム支援のイメージ図と内容を折り込みましたのでご覧下さい。

当事者 Voice



✧当事者スペースの報告✧

2020年10月25日（日）午後1時00分～4時00分 ぴゅあ総合2階会議室 参加当事者・経験者（7名）

▶ スペースにおける内容

- ・近況を語る
- ・当事者スペースの在り方・やり方について話し合う
- ・当事者スペースでこれからやりたいこと
- ・フリートーク

▶ 感想

3ヶ月ぶりの当事者スペースでしたが、参加者も多く、様々な話しもできて、とても良かったです。コロナ禍であっても、当事者スペースとして、できることをやっていければと思っています。（米長）

♪ 当事者の詩 ♪



お月さま

お月さまにありがとう
わたしをぼくを生んでくれて
ありがとう
あなたもそう云ってごらん
お月さまに微笑みで返してごらん
お月さまはちゃんと みんなを知ってるよ
あなたの微笑みが一番好き あなたの微笑みが一番好き

アイジュ ♪

** お知らせ

山梨県ではライン相談を行っております。対面での相談は苦手という方は是非ご利用下さい。

相談時間 16時～21時 一人60分

アカウント名 「やまなしひきこもり相談」 ID @403byxzn QR コード



▶ 甲府市市民講座

日時 11月6日(金) 18時30分～20時 場所 甲府市総合市民会館3F大会議室
講師 白梅学園大学 長谷川俊雄先生 「余分なお世話をしないために必要なこと」
申し込み 055-237-5741 (甲府市民に限ります) 参加費 無料

▶ 甲斐市 ひきこもり研修会

日時 12月3日(木)14時～ 場所 甲斐市北部公民館4Fホール
講師 中北保健所 芦沢茂喜氏
申し込み 055-278-1691(甲斐市在住でひきこもりに関心がある方) 参加費 無料

▶11月はミニグループトークと当事者スペースを開催致します!



山々の色づきが季節の変化を感じさせる頃となりました。日一日と寒くなって日没も早くなり時間に追い越されてしまいそうな感覚さえおぼえます。皆様はお元気で過ごしてでしょうか

今月もミニグループトークのみを開催致します、

今年初めからコロナ禍の影響で私達の生活は大きく変化してまいりました。世界各国で多くの命も奪われ悲しい思いをされた沢山の方々の無念な思いは消えることはないでしょう。

家に滞在されている方々はどのようにお過ごしでしょうか。

コロナに対して必要以上に過敏になったり又は軽視したりせずこの環境を受け入れつつ上手に付き合いながら生きていく方法を模索するしかないのかと思います。

私たちはすでにこの環境に適応しようと様々に知恵と工夫を出し合い生きています。

そうした人間の生きる力は素晴らしいなと感じます。人類の歴史の中でこのように様々な危機を乗り越えて私たちの命は繋がれているのでしょから、まだしばらく続くと思われるコロナ禍から多くを学び次世代への教訓として大事なものを繋いでいけたらと思います。

★ミニグループトーク

11月22日(日) 10時～ ぴゅあ総合 美術工芸室 2F

★当事者スペース

11月22日(日) 13時～16時 ぴゅあ総合 美術工芸室 2F

今月もミニグループトーク、当事者スペースを開催致しますがミニグループトーク終了後更にお話を伺うピアサポートの時間をもうけたいと考えております。

私たちが抱えている問題は様々な要因と長い時間の中で積み上げられてきたものですからとても時間と根気を必要としますが会にしばらく参加されていても現状に変化がない方や少しずつ変化があってもまた新たな問題が生じたり家族だけでは対応しきれないことも発生しますので、お一人の話しをしっかりと聴き取る必要性を感じております。そしてどういう所に繋がってどのような方向性に進めていくのかを共に考えていければと思います。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

皆様のご参加をお待ちしております。

農園でギャザリングしよう!

画55㎡(約17坪) 1年間 市民農園: 1区6.000円

場所: 甲府市七沢町

友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか!

お問い合わせ: 055-243-0261 (相良農園)

すみれ会

11月の集まりはお休みさせていただきます

お問い合わせ: 090-5416-8748 (清水)

*すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です

◆12月の予定



*ミニグループトーク 12月20日(日)10時～12時 ぴゅあ総合 小研修室1

*当事者スペース 12月20日(日)13時～16時 ぴゅあ総合 小研修室1

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局

